



www.joewell.co.jp

JOEWELL®

Xel-Ha

男と女のセニングカットテクニック

Thinning Cut for Men's & Girl's



Special Talk

JOEWELL Scissors
×
Hiroki Miyamura

宮村浩気さん

Xel-Ha、afloat-f、Amphi 代表

『女性を必ずきれいにする』をモットーに、その人のなりたい美しい髪を創造するトップヘアデザイナー。常に高度なテクニックを駆使し最先端のトレンドを発信。現在、『Xel-Ha』、『afloat-f』、『Amphi』の3店舗を経営。サロンワークを中心に、CM・テレビ・雑誌等の撮影でヘアメイクとして国内外で活躍し、タレントやプロモデルからも高い信頼を得ています。

カットの
ポイント1

『男らしさ』や『色気』を出すのが
アフロート流メンズスタイル

アフロートといえば、『モテ髪』や『外国人風』の柔らかい質感のスタイルをイメージする方が多いと思います。そんな中で、メンズスタイルを作る時も、彼女やまわりの女性が好きになりそうなイメージを想像してカットをしています。メンズの場合、ストリート系やエッジの効いたデザインもありますが、主に『男らしさ』や『男性の色気』を取り入れて『モテる男』にデザインするのがアフロート流のメンズスタイルです。

宮村浩気が語るアフロートの最新カット

シザーを使い分けて美女と美男を イメージしながらカットする

柔らかな質感カットで定評のある宮村浩気さんに、最新のオリジナルシザーズを使ったメンズ&ガールのスタイル作りに関する秘訣を語っていただきました。

カットの
ポイント2

ソフトなラインで
時間効率がアップする
11目のセニングシザーズ

メンズヘアの場合、刈上げでスタイルを作ることがよくあります。今回は、ソフトな質感に刈上げができる11目のオリジナルセニングシザーズ(JOEWELL XPG-G11)を使用してカットをしました。このハサミは柔らかい質感で刈上げができ、特にスピーディーに作業できるところが大きなメリットです。時間短縮で作業効率もアップできるので、時間がかかるメンズのスタイル作りにおいて大変重宝すると思います。

カットの
ポイント3

ベースと毛量調整が
同時にカットできる
14目のセニングシザーズ

全体のシルエットを作りながら、削ぎ感や量感を調整できるのが14目のオリジナルセニングシザーズ(JOEWELL XPG-G14)です。このハサミは、根元の立ち上がりや立体感を求める場合に重宝します。また、アウトラインをカットする時にも最適で、チョップカットをした時の毛先の馴染みが抜群です。今回はメンズとレディースのカットをしますが、いずれもベースと毛量や質感の調整を同時にできるテクニックを駆使しています。

ウェイトコントロールが 絶妙なムーブメントのロングヘア

アイロンで巻きやすいようにソフトな質感カットをした、スウィートフェミニンなロングヘア。
毛先は3~4cmほどカットをして、カールがしっかり出るように重さを残しています。
逆に、前髪とフェイスラインはレイヤーを入れて毛量調整。
バンゲは丸みのフォルムでトップから浮遊感を出し、小顔効果のある可愛いイメージに仕上げました。



Point 1
小顔効果と目力アップのソフトなバンゲ
丸みを出して柔らかな質感にカットした前髪。目の上の位置でカットをして、目力をアップさせながら小顔効果を発揮しました。



Point 2
なめらかなカールが再現できる重めの毛先
重さを残した毛先は、アイロンでカールが出しやすいようにいてねいにカット。なめらかな毛流れと自然な動きが再現されています。

by 宮村浩気

アーバンテイストの アシンメトリーヘアでクールに決める

ソフトタッチのツブロックとアシンメトリーなシルエットにカットしたメンズのロングスタイル。
硬い髪質をソフトに見せるため、毛量調整で長短をつけて浮遊感を出しました。
髪の動きや毛先のディテールにシャープさを出して、洗練された都会的なクールさを表現。
バランスや量感を計算したカットで男らしさが発揮されています。



Point 1
浮遊感のあるソフトタッチのフロント
トップから前髪は長短をつけたカットで浮遊感をプラス。硬い髪質をソフトに見せて、ふんわりした動きが出やすいようにカットしています。



Point 2
毛先をシャープにしてアシンメトリーに
前髪とバックは右サイドを長めに残したアシンメトリーなシルエットに。毛先にシャープさを表現して都会的なデザインに仕上げられています。

by 宮村浩気



大胆なカールでクールに決める 粹なネオマッシュヘア

アイロンでカールを作ったアクティブな動きのマッシュヘアです。
ポイントは、ショートでもアイロンでスタイリングができる計算されたカット。
毛先と根元のバランスを考えて、しっかり毛量調整をしています。
丸みのシルエットに大胆なカールを作っても重さを感じさせない、そのバランス感覚が絶妙です。



表面は束感カールで
アクティブな動きを
アイロンで束感カールにした躍動感
のあるトップ。毛量調整をしっかりと
しているので、ボリュームを出しても重さ
を感じさせません。



タイトなえり足が
マッシュの魅力を引き出す
えり足のボリューム感を抑えて、全体
のシルエットに丸みを出しています。
マッシュヘアの特長を最大限に引き
出したバランスが魅力的です。

by 由梨

ソフトに刈上げた モヒカンテイストのアクティブな動き

サイドとバックのラインをぼかしてモヒカンテイストに仕上げた、フォワードタッチの刈上げショート。
トップは長短をつけた質感カットで立体的に動きをプラス。サイドはソフトに刈上げて全体のバランスを保ちました。
軟毛でも髪に長短をつけると浮遊感が生まれて動きのあるスタイルに変身できます。
アクティブで新鮮な感覚が今風です。



長さを残して
ソフトモヒカンテイストに
トップに長さを残してフォワードタッチ
に仕上げたソフトモヒカンフォルム。
ランダムな束感でアクティブな男性像
を表現しました。



毛先をぼかした
ソフト刈上げでタイトに
サイドとバックはソフトに刈上げて、毛
先のラインをぼかしています。長さのあ
るトップと対比的にしてバランスを保
っています。

by 由梨



今年のイチオシは 美髪カールを生み出す束感カット

フラットになりがちな軟毛に、デジパーでカールを作ってキュート・フェミニンなスタイルに仕上げました。ベースは、根元から毛先まで均一の厚みになるように計算した毛量調整でカット。仕上がりでは束感カールが均一になり、ナチュラルな動きとボリューム感が再現されています。顔周りの軽さも印象的で、この春におすすめのデザインです。



軽さのフェイスラインでしなやかな毛流れを前髪とフェイスラインの毛流れをしなやかにして、アゴのラインをすっきりとさせました。計算された毛量調整で軽さが生まれています。



均一の束感カットでカールの動きが映えるなめらかなカール感を生かした束感カット。根元から毛先まで、均一の重さになるように厚みを残したカットでカールの動きを自然に見せています。

by 裕二郎

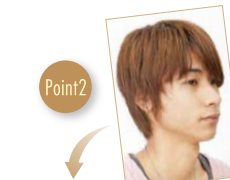


エアータッチに仕上げた クール&ソフトな質感ショート

硬い髪質を柔らかくナチュラルに見せるため、パーマでボリューム感と動きをプラスしたムーブメントのショートヘアです。カットは根元から間引いて毛先に長短をつけて、束感が出やすいようにしています。束感カットとミックスパーマでランダムな動きが出て、ロックな雰囲気か漂うクールなテイストに仕上げました。



トップは浮遊感のある自然な毛束の動きに根元から間引いた毛量調整で、トップに浮遊感をプラス。自然な毛束の動きとボリューム感はパーマとカットの連動で表現しています。



ミックスパーマで表面にランダムな動きをえり足は外ハネに、サイドとバックはランダムな動きが出るようにミックスパーマをかけています。前髪は長さを残して男っぽさを演出しています。

by 裕二郎





Stylist Advice

毛先に重さを残し 簡単にカールが作れるカットテクニック

用途に応じてシザーズを使い分けると効果的

毛量調整をして、アイロンで巻きやすいカットしました。カットする目的に応じてハサミを使い分けると、効果的にデザインができます。最初のベースカットは、長さとも量を同時にカットできるXPG-G14を使用。シャープなラインを出す部分はプラント用のハサミで。細かい毛量調整をしたい場合は、刃先と刃元でカット率が異なるXPG-G17を使い分けます。



by 宮村浩気

使用シザーズ JOEWELL XPG-63 JOEWELL XPG-W17
JOEWELL XPG-G14

Technique Process



1 バックのアウトラインをカット。若干、前上がりのラインで揃える。使用するハサミはXPG-G14。



2 バックにレイヤーを入れる。毛先は指で扇形に広げてチョップカット。パネルは放射線状に展開してローレイヤーで毛先に重さを残す。



3 トップにレイヤーを入れる。パネルを真上に引き出して毛先をカット。



4 ミドルセクションのカット。縦パネルを引き出しえぐるようにしてレイヤー感を出す。以降のパネルはセンターに引き寄せてカット。



5 サイドのアウトラインのカット。前上がりのラインでバックとつなげる。パネルは10度の角度で持ち上げる。



6 サイドにローレイヤーを入れる。耳上からパネルを引き出して毛先をひねってカット。バックから顔周りまでカット。



7 トップのチェックカット。パネルを真上に引き出してコーナーを取る。



8 顔周りにレイヤーを入れる。パネルを前方に引き出し、下の毛が落ちるくらい手首を返して毛先をカット。使用するハサミはXPG-63(プラント用)。



9 前髪のカット。台形ベースでパネルを取り、丸みのラインにする。カットする幅は瞳の外側を目安にする。



10 ドライカット。毛量の多い部分をチェックしながらバックの内部をスライドカットで毛量調整。使用するハサミはXPG-W17。



11 表面の髪は刃先を使ってワンポイントでカット。毛束の下側を少しカットしてバックに長短をつける。



12 トップは真上にパネルを引き出して毛先を少しカット。チェック程度にとどめる。



13 サイドの毛量調整。バックと同様に、溜まりやすい部分を確認して中間から毛先をカットする。顔周りはスライドカットで馴染ませる。



14 表面の髪は短くすぎないように、少しずつ毛束を取って下側をカット。逆サイドも同様に。



15 前髪のカット。流したい方向に毛先を引いて飛び出た毛をカット。刃先を使ってトリミングする。



16 表面の髪の内側をカットして浮遊感を出す。刃先を使っていねいにカットする。

Finish



なめらかでソフトな質感を再現したフェミニンロング

アイロンで均一のカールが作れるように、ソフトな質感カットをしたスイートフェミニンなロングヘア。毛先の重さを残しつつ、内部は毛量調整をして動きの出しやすいスタイルにカットしています。



ソフトな刈上げと 毛先をシャープにするカットテクニック

重さのある髪に動きを与えてシャープに

硬さと重さを感じる髪質。都会的なイメージでシャープなラインを出します。サイドは刈り上げてツーブロックにカット。シルエットは前髪とネープに長短をつけてアシンメトリーなラインに仕上げました。また、髪に動きが出るように、表面にかかるトップは根元から浮遊感を出して束感を作っています。ベースと毛量調整を同時にできるシザーズで効率よくカットを進めます。



by 宮村浩気

使用シザーズ JOEWELL XPG-G11 JOEWELL XPG-G14

Technique Process



1 サイドの刈上げ。ハチのラインでブロックし耳の前を荒切り。コームは斜めに当ててカットする。使用するハサミはXPG-G11。



2 耳まわりのアウトラインをほかす。



3 クリッパーでトリミング。コームを添えて面を整える。逆サイドも同様に。



4 サイド上部のカット。パネルを降ろしてやや前上がりかりのラインでカット。チョップカットでラインをほかす。使用するハサミはXPG-G14。



5 右サイドはアシンメトリーにするので、やや前下がりかりのラインで長めにロングスを決める。



6 トップにレイヤーを入れる。パネルを真上に引き出してチョップカット。平行にパネル展開をして前髪までカットを進める。



7 サイドのカット。パネルを持ち上げてハイレイヤーでトップとつなげる。逆サイドも同様に。



8 バック左サイドのカット。バックもアシンメトリーにするため、アウトラインを前上がりにする。センターまでカット。



9 バックのオーバーセクションをレイヤーカット。4~5セクションに分けて中央が長くなるように外側に寄せてカット。



10 バック右サイドのカット。アシンメトリーで長さを出すため、9の延長で斜めのラインにカットする。



11 ドライカット。トップの量感を確認しながらフリーハンドで毛束を引き出して、根元から長短をつけ立体感を出す。



12 前髪のカット。ハサミは半開閉でスライドさせて長短をつける。その上は根元からカットをして浮遊感を、トップは中間から毛量調整。



13 サイドは少しずつカットして毛先に柔らかい質感を出す。



14 ライトサイドの毛先の厚みを取る。さらにその上部は中間付近から毛量を調整。



15 バック左サイドの毛量調整。えり足と耳後ろの量感を確認して重い部分をカットする。ミドルセクションも同様。



16 バック右サイドの毛量調整。長さとし残さずため毛先をスライドカット。耳後ろは根元からしっかりと量感を落とす。

Finish



ツーブロックとアシンメトリーのシャープなデザイン

ソフトな刈上げのツーブロックとアシンメトリーなシルエットをデザイン。髪に長短をつけて、浮遊感と立体感を出しました。髪の動きや毛先のディテールにシャープさを出して都会的な印象に。



Stylist Advice

硬毛にソフトな質感を与え 再現性を高めるカットテクニック

長さや量感を同時にカットして効率をアップ

ベースカットでアウトラインを切る時は、長さや量感を同時にカットできるXPG-G11で。カットラインをぼかしたい時や毛先にソフトな質感を求める時にも最適。ワンプロセスでカットできるので時間効率もよく、ドライカットでの作業も軽減できます。今回はマッシュベースのスタイルなので、特に毛先の処理が大きなポイント。アイロンスタイリングも簡単です。



by 由梨

使用シザーズ JOEWELL XPG-G11 JOEWELL XPG-G14

Technique Process



1 サイドのアウトラインをカット。チョップカットでラインをぼかす。使用するハサミはXPG-G11。



2 徐々にパネルを降ろしてサイド全体をカットする。逆サイドも同様に。



3 バックのアウトラインをカット。サイドとつなげる。



4 センターライン上でパネルを取りグラデーションカット。ハの字スライスでパネル展開をして耳後ろまで進める。



5 前髪のカット。パートで分けて三角ベースでパネルを引き出してチョップカット。徐々にパネルを降ろして丸みのラインでカットする。



6 トップのカット。パート上でパネルを引き出して前方に120度傾けてチョップカット。徐々にパネルを降ろして丸みのラインでカットする。



7 表面にレイヤーを入れる。前髪から平行にパネル展開をして後方まで進める。逆サイドも同様に。



8 サイドのミルセクションにつなげる。まず、水平にパネルを引き出す。



9 そして毛先をひねって毛先をチョップカットでラインをぼかす。バックまでカットを進めて、逆サイドも同様にカットする。



10 ドライカット。ネープの重い部分と溜まりやすい耳後ろを間引く。使用するハサミはXPG-G14。



11 バックのハチのラインは、パネルの中をえぐるようにカットして空間を作る。



12 オーバーセクションは表面を切らないように残してパネルの下側をカット。中間から毛量を調整する。



13 サイドのハチのラインも同様に毛量調整。中間から毛先を間引く。



14 ハチの上のセクションも量感をチェックしながら毛量調整。逆サイドも同様に。



15 前髪のカット。丸みのラインにするため、流す方向とは逆にシェイプして毛先をカット。ラインをぼかす。



16 トップの質感調整。パネルを真上に引き出して毛先をぼかす。

Finish



カールを作っても重さを感じさせないマッシュヘア

ふんわりと丸みのあるマッシュヘア。毛先と根元のバランスを考えて毛量調整をして、ショートでもアイロンでスタイリングしやすいようにカット。大胆なカールを作っても重さを感じさせません。



Stylist Advice

ソフトに刈上げて
バランス感覚を保ったカットテクニック

ソフトな刈上げでトップの動きと馴染ませる

ここでは刈り上げたカット面をソフトにして、動きを出したトップと馴染みやすいように毛先の質感を柔らかく処理しました。ベースと量感を同時にカットできるシザーズなら、毛先に微妙な長短がついて刈上げがソフトに馴染みます。動きを出したいトップはややモヒカンテイストでセンターに長さを残し、仕上げはフォワードタッチにして束感を生かしたデザインにしています。



by 由梨

使用シザーズ JOEWELL XPG-G11 JOEWELL XPG-G14
JOEWELL SUPREME SNT-40

Technique Process



1 サイドのカット。アウトラインを切りながら毛先をほかす。使用するハサミはXPG-G11。



2 耳まわりを揃える。セニングシザーでラインをほかし、耳後ろもカットしてラインをソフトに揃える。逆サイドも同様に。



3 バックのカット。コームと連動させてすくい切り。ソフトに刈り上げる。



4 ほんのくぼきまで切り進む。ベースカットと毛先の毛量調整を同時進行で行う。ヘムラインまでカット。



5 前髪のカット。パネルをリフトアップさせて毛先をチョップカット。ラインをほかす。



6 徐々にパネルを引き出して、同様にトップまで切りすすむ。



7 モヒカンラインをガイドにして、セイルムレイヤーでサイドとつなげる。徐々にパネルを引き出して後方までカットを進める。



8 さらに、ミドルセクションも同様にレイヤーでカットしてサイドとつなげる。



9 サイドを切り終えたら同様にバックまでつなげる。



10 逆サイドまで同様にレイヤーカットでつなげて全体をカットする。



11 ドライカット。ネープのアウトラインをほかす。使用するハサミはXPG-G14。



12 バックの毛量調整。耳後ろなど量感の多い部分をカット。1cmほど毛束を取って根元から間引く。



13 サイドの毛量調整。ハチのラインでパネルを引き出し、コームですくいながら毛先をほかす。



14 トップの毛量調整。パネルを引き出して、根元3カ所をポイントカットで間引く。



15 前髪の毛量調整。毛先中心に40目のセニングシザーで量感を落とす。



16 フロントは縦パネルを引き出して、根元付近からセニングカット。トップまで同様に、毛量調整をする。

Finish



タイトさと浮遊感を出したフォワードタッチのショート

全体にラインをほかしてモヒカンテイストに仕上げたフォワードタッチの刈上げショート。トップは長短をつけた質感カットで束感をプラス。サイドとバックはソフトに刈り上げてタイトにしました。



Stylist Advice

計算した毛量調整で
均一の束感を作るカットテクニック

セクションごとに毛量調整の見極め

軟毛にボリューム感と動きを出すためにデジタルパーマを。その際に、根元から毛先まで均一の太さで束感が出るように毛量調整を行います。カールできれいな束感を出すには、やはりパーマとカットの連動が大切です。ベースカットが正確なら、スタイリングでも再現性が高まります。セクションごとにパネルのどの位置で毛量調整をするか、見極めを計算してカットします。



by 裕二郎

使用シザーズ JOEWELL XPG-63 JOEWELL XPG-W17

Technique Process



1 バックのアウトラインをカット。ワンパネルでチョップカットをする。使用するハサミはXPG-63(プラント用)。



2 バックの延長でサイドまでアウトラインをつなげる。



3 耳後ろからパネルをCシェイプで引き出してチョップカット。毛先をひねって少し内側に入れる。逆サイドも同様に。



4 トップにレイヤーを入れる。バックのウエイトの位置を決めて、パネルを真上に引き出してチョップカット。



5 4をガイドにしてトップにレイヤーを入れる。ミドルセクションもレイヤーでつなげる。逆サイドも同様にレイヤーでつなげる。



6 バックのセンターライン上で4とつなげる。オーバーセクションもレイヤーでつなげ、バックは放射線状にパネル展開をしてカット。



7 ミドルセクションもレイヤーでつなげる。パネルは放射線状に展開するが、耳後ろは穴があかないようにパネルをセンターに寄せてカット。



8 アンダーセクションはアウトラインを切らないようにコーナーをカット。薄くならないように重さを残す。



9 前髪のカット。少しリフトアップして毛先をチョップカット。顔周りをラウンドさせて丸みを出す。



10 ドライカット。アンダーセクションは毛先中心に毛量調整。ミドルセクションはパネルの中間から毛先をカットする。使用するハサミはXPG-W17。



11 オーバーセクションは毛先中心に毛量調整する。



12 サイドの毛量調整。ミドルセクションの中間から毛先をカットする。アンダーセクションは切らずに残す。



13 トップの毛量調整。真上にパネルを持ち上げて毛先を毛量調整する。



14 サイドの表面も毛先を毛量調整して馴染ませる。



15 顔周りのカット。毛先中心に毛量調整をしてラインをほかす。



16 前髪のカット。3つにブロックして第1線は毛先を、2線目は中間をカットして毛量調整。3線目はそのまま残す。

Finish



均一の束感が再現できる甘めメディアム

モデルの個性に合わせたフェミニンなスタイル。カットは、根元から毛先まで均一の厚みになるようにセクションごとに計算した毛量調整を。パーマをかけた時、均一のカールになるようにしました。



Stylist Advice

束感を作ってエアリータッチに仕上げるカットテクニック

量感をチェックしピンポイントで毛量調整をパーマで硬い髪質に動きを。その際、カットでしっかりとフォルムを作り、束感が簡単に再現しやすいデザインにします。ポイントは量感をしっかりチェックして、根元からピンポイントで毛量調整を。これで浮遊感を出します。また、中間から毛先に長短をつけ、長さをキープしながら動きやすい髪にカットします。広がりやすい髪のおさまりよくすることで再現性が高まります。



by 裕二郎

使用シザーズ JOEWELL XPG-63 JOEWELL XPG-W17
JOEWELL XPG-G14

Technique Process



1 バックのアウトラインをカット。耳のラインでブロックングしてチョップカットで長短をつける。使用するハサミはXPG-63(プラント用)。



2 バックにレイヤーを入れる。ミドルセクションもトップとつなげる。ただしアウトラインとはつなげずにディスコカット。



3 サイドのカット。こめかみのラインでブロックングしてアウトラインを揃える。



4 トップのカット。センターラインで真上にパネルを持ち上げてレイヤーを入れる。



5 サイドをレイヤーでつなげる。逆サイドも同様に。



6 前髪のカット。少しパネルを持ち上げてチョップカット。フロントからトップは根元付近をポイントカットで間引く。



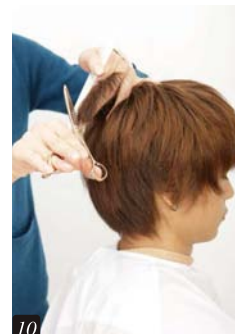
7 ハチ周りで溜まっている部分を内側からポイントカットで間引く。使用するハサミはXPG-W17。



8 ドライカット。耳のラインでブロックングしてアンダーセクションをカット。インナーグラデーションでセニングカットする。



9 ミドルセクションは重い部分を確認しながら毛量調整をする。オーバーセクションも同様に根元から毛量調整。



10 トップの毛先をチョップカット。長短をつけて束感を出す。使用するハサミはXPG-G14。



11 さらにトップの根元も毛量調整する。ただし、表面は切らないように残す。



12 サイドの毛量調整。ハチのラインでパネルを引き出して、インナーグラデーションでセニングカット。使用するハサミはXPG-W17。



13 フロントはパネルの中間を毛量調整。トップはチョップカットで毛先に長短をつける。使用するハサミはXPG-G14。



14 前髪のカット。毛先に向かって削ぐようにカットして質感を出す。使用するハサミはXPG-W17。



15 フロントをインナーグラデーションでセニングカット。根元付近からハサミを入れる。



16 顔周りのカット。毛先中心に毛量調整をしてラインをほかす。

Finish



浮遊感の漂う束感カットで作るムーブメントヘア

硬い髪質をソフトな質感に見せるため、毛先と根元の毛量調整で長短をつけた束感ショート。浮遊感を出してボリュームを出しやすくしています。前髪は長さを残してムーブメントな印象に。



プロが選ぶトップブランド JOEWELL シザーズ 【宮村浩気使用モデル】

ピンクゴールド仕上げの宮村浩気モデルを加えた、ヘアスタイリストのニーズに応えるハイクオリティの『ジョーウェル・シザーズ』。あらゆるカットング・テクニックとデザインの創作に対応できる、プロフェッショナル専用の最高級シザーズです。

ベースカット用・カットシザーズ JOEWELL XPG-60

ピンクゴールド仕上げの
カスタムメイド。Xel-Ha
オリジナルネジカバーを
装着。なめらかな開閉感と
耐久性のある刃材が特長。
ショートサイズ、6インチ。

¥99,750
(本体価格¥95,000)



ベースカット用・カットシザーズ JOEWELL XPG-63

ピンクゴールド仕上げの
カスタムメイド。Xel-Ha
オリジナルネジカバーを
装着。なめらかな開閉感と
耐久性のある刃材が特長。
6.3インチ。

¥99,750
(本体価格¥95,000)



ベースカット用・カットセニングシザーズ JOEWELL XPG-G11

ピンクゴールド仕上げのカスタムメイド。Xel-Ha
オリジナルネジカバーを装着。ベースカットをしな
がら同時に毛量調整も行える併用タイプのシザ
ーズ。カット率は約80%。11目。6.3インチ。

¥99,750(本体価格¥95,000)



ベースカット・毛量調整用・カットセニングシザーズ JOEWELL XPG-G14

ピンクゴールド仕上げのカスタムメイド。Xel-Ha
オリジナルネジカバーを装着。ベースカットをしな
がら同時に毛量調整も行える併用タイプのシザ
ーズ。カット率は40~50%。14目。6.3インチ。

¥99,750(本体価格¥95,000)



質感・毛量調整用・セニングシザーズ JOEWELL XPG-W17

ピンクゴールド仕上げのカスタムメイド。Xel-Ha
オリジナルネジカバーを装着。先端の櫛刃の幅を
小さく加工したセニングシザーズ。刃元から中間
までは25~30%、刃先は約15%のカット率。
17目。6.3インチ。

¥99,750(本体価格¥95,000)



東光舎のアフターサービス

- *全商品に無料修理サービス券が付いています。
- *工場到着後3営業日以内でご返送します。
- 詳しくは商品に添付の説明書をご覧ください。



株式会社 **東光舎**

〒113-0021
東京都文京区本駒込6-12-16
TEL.03-3945-4011
<http://www.joewell.co.jp>

国内最大級・最新設備を誇る理美容鉄専用工場を有し、営業・開
発・製造部門が一体となって製品を開発。世界のトップシェアブ
ランド「ジョーウェル」、高級理容ブランド「ニハトリ」など、世界の
ヘアスタイリストに満足していただける製品作りを追究している。